



2026年3月30日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

スパークス・グループによる「スパークス・蓄電所ファンド」の設立について

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークス）は、我が国のカーボンニュートラルの実現に資する新たな取組のひとつとして、市場運用を通じて収益を獲得するマーチャント（市場運用）型の蓄電所事業を主な投資対象とした「スパークス・蓄電所ファンド（以下、本ファンド）」を設立いたしました。

蓄電所は電力系統に直接接続を行い、電力の余剰時に充電・不足時に放電を行い、また電力の出力変動を抑制する調整力としての機能を持つ大規模な蓄電施設です。再生可能エネルギーの導入拡大に伴う「電力網の不安定化」や「出力制御（発電の停止）」といった課題を解決し、脱炭素社会の実現と電力の安定供給を両立する重要な次世代インフラです。

近年世界的に蓄電所の導入が拡大し、我が国においても蓄電所の需要が急速に拡大しています。

こうしたニーズに応えるべく、当社は2024年2月に主に長期脱炭素電源オークションを活用した蓄電所を投資対象とする「スパークス・グリーン蓄電所ファンド」を設立いたしました。しかし、昨今の電力市場のボラティリティ（価格変動）の拡大やより機動的な調整力の必要性が急速に高まっていることを踏まえ、今回新たに本ファンドを設立することとなりました。

本ファンドの投資対象となる蓄電所事業は、特定の長期契約に依存せず、電力の需給状況に応じて柔軟に電力を充放電し、需給調整市場、卸電力市場、容量市場での取引を通じて得られる収益の最大化を目指します。

スパークスがファンド運営者（GP）、子会社のスパークス・アセット・マネジメント株式会社が運用代理人となり、機関投資家や事業会社（LP）からの出資を受け、総額61億円で本日組合契約を締結いたしました。ファンド規模100億円程度を目指して2026年7月末日まで募集する予定です。

スパークスの子会社であるスパークス・グリーンエネルギー＆テクノロジー株式会社（以下、「SGET」）では再生可能エネルギー事業開発・運営において全国349か所、計727MWの実績があり、主に太陽光発電所、風力発電所等の導入を推進してまいりました。また、近年では新たな取り組みとして蓄電所事業で全国5か所、計230MW、グリーン水素製造事業で1か所、年100トンの水素を生み出す水素製造所の開発実績がございます。

当社グループは、引き続き再生可能エネルギー事業や蓄電所事業、グリーン水素製造事業への投資を通じて、脱炭素社会の実現と持続可能な豊かな社会の実現に貢献してまいります。



<ファンド概要>

ファンド名	スパークス・蓄電所投資事業有限責任組合 「スパークス・蓄電所ファンド」
投資先	国内の蓄電池事業を対象とする出資持分、その他投資証券等
出資者	無限責任組合員：スパークス・グループ株式会社 有限責任組合員：株式会社りそな銀行、ヒューリック株式会社、株式会社常陽銀行他
運用代理人	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
ファンド規模	100 億円程度
ファンド期間	10 年
ファンド募集期間	2026 年 7 月末日まで

<蓄電所イメージ>



- 本件に関するお問い合わせ先
スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com